

記者の仕事に挑戦

コザ小 2人1組で取材



座波幸代記者(左)に記事の書き方を質問する児童。17日、沖縄市立コザ小体育館



【沖縄】沖縄市立コザ小学校(平田光秀校長)で17日、琉球新報記者による出前講座「おでかけりゅうPON!」が開か

れた。3、4年生の児童112人は記者の仕事やメモの取り方を学んだ後、友達同士でインタビューし、記者の仕事に挑戦した。

講座では、座波幸代NIE推進室記者が記者になったきっかけや「ペ

ン」「カメラ」など仕事の「七つ道具」を紹介。

続いて金城綾乃同室記者が、重要な箇所がわかるように印を付ける方法や、「いつ」「どこで」といった5W1H、固有名詞に注意するなど、メモを取る時のコツを説明した。ワークシヨップでは、2人1組で相手の将来の夢について取材。児童らは真剣な表情で話を聞き、記事にまとめた。

3年生の玉城寛太君(9)は「友達にインタビューするのが楽しかった。習ったことに気を付けて、詳しく聞くことを心掛けた」と声を弾ませた。

「りゅうちゃん号」が講座の様子をまとめた速報を配布した。